

農林水産大臣賞 「事業所・地方公共団体等」分野	受賞者名
	サントリー食品インターナショナル株式会社
	所在地 東京都中央区
	受賞テーマ 植物由来原料を 30%使用した独自開発の国産最軽量ペットボトルの導入

同社は、3Rの考え方にもとづいた容器包装の環境負荷低減に取り組んでいる。容器包装がもたらす社会的影響を強く認識し、1997年に自主基準「環境に係る容器包装等設計ガイドライン」を設定。お客様の飲用時からリサイクル処理を行うまでのユーザビリティに配慮しながら、軽量化やより環境負荷の少ない素材の採用、さらにはリサイクル処理しやすい設計に取り組んでいる。

植物由来原料を 30%使用した独自開発の国産最軽量ペットボトルの導入

2013年5月より、国産最軽量^{※1}の11.3gとなる独自開発ペットボトルを「サントリー天然水」550ml（自動販売機対応商品は除く）に導入。すでに2013年2月より2Lには国産最軽量となる29.8gのペットボトルを導入しており、これにより大容量・小容量ともに国産最軽量を実現。さらに、豊田通商（株）のサプライチェーンを活かし、植物由来原料の安定的な調達が可能となり、常に原料の30%が植物由来原料となるペットボトルの製造が実現。同550mlのペットボトルに採用。これらの取り組みにより、石油由来原料の使用量を550mlペットボトル1本あたり約4割削減することができた。

※1 国産ミネラルウォーターペットボトル（500ml～600ml）対象 2013年3月時点

<国産最軽量ペットボトルの開発>

2013年2月より、国産2Lペットボトルで初めて30g以下のボトル重量となる29.8gのボトルを採用した「サントリー天然水」2Lを上市。従来の2Lペットボトルを約2割軽量化。5月より、「サントリー天然水」550mlのボトルを13.5gから11.3gに軽量化し、大容量・小容量ともに国産最軽量を実現。軽量化することで、飲用後により簡単に手をつぶせるペットボトルとなった。また、ラベルはロールラベルを採用しており、端にある「はがし口」をつまむと、ボトルから簡単にはがせ、リサイクルのことを考えた分別しやすい設計となっている。

<植物由来原料の活用>

豊田通商（株）のサプライチェーンを活かし、植物由来原料の安定的な調達が可能となり、常に原料の30%が植物由来原料となるペットボトルの製造が実現し、「サントリー天然水」550mlペットボトルに採用。

（写真）「サントリー天然水」550ml ペットボトル

